

新聞記事

新聞名：神戸新聞

E 時：平成21年8月22日（土）



香美に滞在 活性化策提案

神戸夙川学院大生

神戸夙川学院大学（中央区）観光文化学部の実生4人が香美町小代区佐坊地区に滞在し、香美の視点で活性化を考える提案会「写真Ⅱ」がこのほど、同地区で開かれた。学生たちは集落を歩いて魅力を探し、活用方法などについて住民らと話し合った。

同大と県の共同事業。

農山村の自然や魅力を生かした地域づくりについて学ぶ3回生が参加した。1日、同地区を調査し、かつて生産していたワサビ栽培を復活してブランド化することや、住民の肌をぎれいなことから着目したエステティックなどを提案した。

これに対し主賓側からは質問のほか、「表現に向けた具体策を」なる活性化の難さを訴える声も出されたが、「われわれももっと考えていきたい」との意見も出た。井上克巳区長は「地元について考えるいいきっかけになり、楽しかった」と話していた。

鈴森加央里さん（21）は「表現はなかなか難しいが、少しでも役にたつようになりたい」と話す。学生たちは地域のデータや地区に伝わる暮らしの知恵などの収集を続け、11月に再び、報告会を開くという。（小日向務）